

プレスセミナーのご案内

一般社団法人 INSPIRE JAPAN WPD 乾癬啓発普及協会

乾癬患者のこころとからだ、医療・社会的環境の課題とは？

「乾癬」の社会的認知度向上の重要性

— 患者と医師が本音で語るトークセッションも開催 —

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

一般社団法人 INSPIRE JAPAN WPD 乾癬啓発普及協会（代表理事：奥瀬正紀）は来る10月29日（月）の世界乾癬デーを前に東京タワーにて、乾癬の理解促進と正しい情報の普及啓発を目的にしたプレスセミナーを **10月28日（日）13:30-14:30に開催**いたします。

乾癬は未だに原因や根治療法が明らかになっていない慢性の皮膚疾患で、世界で約1億2,500万人、日本で約50-60万人の罹患者がいるとされ、現在も増加傾向にあります。2016年には世界保健機関がグローバルレポートを発行し、世界規模での対策を提唱するなど、乾癬は今、深刻な疾患の一つとして注目を集めています。

昨年、米国で発表された研究*によると、乾癬への罹患者は、自殺念慮の発生率が乾癬ではない方と比べて約2倍に増加すると報告されています。皮膚症状などの**身体的負担に加え、肌を見られることによるストレスや感染するという誤解から、精神的・社会的な負担も大きく、**ストレスがさらなる症状の悪化をもたらすことも懸念されています。

乾癬の治療は、2010年に生物学的製剤が登場して以降、治療の選択肢は広がっており、今では皮膚症状のほとんどない状態を長く維持している患者も増加傾向にありますが、一方で正しい情報や最新の情報が行き届かず、医師に相談もできず、一人で悩みを抱え苦しんでいる患者も未だ多く存在し、医療環境面、また社会的環境についても多くの課題が残されています。

今回のプレスセミナーは、乾癬の臨床現場、また「ふくおか乾癬友の会」、「山口乾癬友の会」の相談医として多くの乾癬患者と日々向き合わせ、日本乾癬学会評議員で全国的にもご活躍中の、日野皮膚科医院 院長 **日野 亮介 先生**を講師にお迎えし、**乾癬とはどういう病気なのか、その治療法、患者の心身への影響や、ライフイベントにおける課題**などについてご講演いただきます。また、INSPIRE JAPAN WPD 乾癬啓発普及協会事務局長の添川雅之氏も登壇し、自身の体験に基づき、**多くの乾癬患者が抱える苦悩や、治療への正しい知識を持つ事で、社会的孤立から脱却し、人生のライフイベントをあきらめない選択も可能な時代になったこと、その為の社会の正しい理解や、「乾癬」の社会的認知度向上が、いかに重要であるか**などについてお伝えします。

つきましては、一人でも多くの悩みを抱える患者に広く情報を届けたく、是非多くのメディア関係者の皆さまの参加をお待ちしております。

敬具

※ 同送のFAX返信用紙又はメールにて **10月26日（金）**までに出席の回答をお願いいたします。